

成18)年に特定外来植物に指定し、栽培や運搬、販売を禁止している。

便ノ山では県道の緑化整備がきっかけで拡

散し、官民一体で組織

する町ボランティアグルーブ「交流空間み

やま」が田上至代表

(58)が9年前から

景観保護を目的に駆除

している。

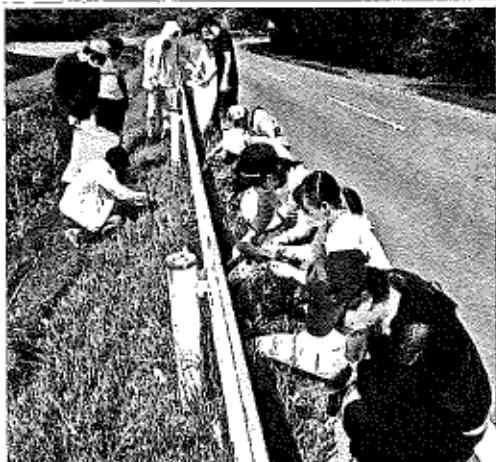
紀北町便ノ山の県道周辺で、今年も特定外来植物に指定されているオオキンケイギクが咲き始め、地元有志らが駆除活動に取り組んでいる。

オオキンケイギクは

キク科の多年草で、5~7月にコスモスに似た黄色の花を咲かせる。繁殖力の強い外来植物で、在来種を駆逐するなど生態系に悪影響を及ぼすため、環境省が2006(平

5~7月にコスモスに似た黄色の花を咲かせる。繁殖力の強い外来植物で、在来種を駆逐するなど生態系に悪影響を及ぼすため、新型コロナウイルスの影響で会員の動員を見合わせたが、中里の自動車部品製造会社「海

洋ゴム」の社員12人が地域貢献の一環で参加し、種まき権兵衛の里駐車場を中心に約1時間の作業で45kg袋3個分を駆除し、焼却処分した。



オオキンケイギクの駆除活動
(30日、紀北町便ノ山で)

オオキンケイギク駆除

特定外
来植物

便ノ山で地元有志ら

田上代表は「世界遺産の景観保護と鉢子川の原風景を守る想いで始めた取り組み。地道な活動の成果で年々減

っているが、種の生命力が強く立地条件や気象状況で開花する。来年以降も継続した活動が大切になる」と話していた。